

平成 15 年度石川県保育士試験問題

保 育 原 理 (その1)

[解答は全て解答用紙に記入すること。]

1 次の () にあてはまる言葉をいれなさい。

- ・平成12年度からの保育指針には、子育て家庭における保護者の負担や不安、孤立感の増加など、養育機能の変化に伴う () で、第 () 章が加わり、保育士は積極的に ()、() に応じなければならなくなった。さらに、職員 () や自己研鑽に努めることが必要であるとされた。
- ・保育の方針の決定や子どもの健康状態を理解する上で身長、体重、()、() などの計測は定期的に行う。また、() の指導の下、保護者からの情報とともに () 等も活用して適切に把握する。この時 () 義務の徹底が必要である。

2 左の文に関係の深いものを右より選び、A or B で答えなさい。

園にひとつだけ作成する。

長期のものと短期のものがある。

A 保育計画

主に保育士が作成する。

子どもの姿や園の行事、保護者との関係、昨年の反省などから毎年つくりかえられる。

B 指導計画

地域の実態、子どもの発達、家庭状況保護者の意向、保育時間等を考慮して作成する。

3 次の言葉を説明しなさい。

保育士の国家資格化

保育所の苦情解決

4 次の人は保育の歴史に関係のある人物です。簡単に説明しなさい。

赤沢鍾美

フレーベル

倉橋惣三

モンテッソリー

クルーブスカヤ

5 間違った箇所があれば訂正せよ。なければそのままにしておくこと。

保育の形態として一斉保育、設定保育、はだし保育などがあげられる。

保育園では長時間の子のための保育として預かり保育を行っている。

保育所にも第三者評価システムが導入されることになり、経営、管理の面を評価してもらうことになった。

予防接種は感染症を防ぐ意味からもとても大切であり、保育所で集団でうけるようにする。

手拭タオルは一人一人のものを用意しなくてもよい。

受験番号

平成 15 年度石川県保育士試験問題

保 育 原 理 (その 2)

6 次のことは何歳児のことでしょうか。年齢を入れなさい。

内面的に一段と成長し言葉を主体として遊ぶことができる。

「なぜ」「どうして」の質問が盛んになる。言葉が豊かになってくる。

話し言葉の基礎もでき、食事、排泄などもかなり自立できるようになる。

自我がしっかり打ち立てられ、自分と他人との区別がはっきりする。

歩行の機能が一段と進み、走る、跳ぶ等の基本的な運動機能が伸びる。

7 子どもの内面を理解するためのポイントを3つあげなさい。

8 次の文章にあてはまるものを下から選んで記号を記入しなさい。

- ・保育所における保育は、ここに入所する乳幼児の最善の()を考慮する。
- ・長い間、子どもは「()」として考えられていた。
- ・保育所の特性は()が一体となって豊かな人間性を持った子どもを育成するところにある。
- ・子どもの様々な欲求を満たし、生命の()、及び情緒の安定を図ること。
- ・様々な体験を通して、豊かな()を育てる。

ア 安定	イ 養護と教育	ウ 利益	エ 感性	オ 小さな大人
カ 養護	キ 保持	ク 維持	ケ 健康	コ 愛情

9 環境を通しての保育とはどういうことでしょうか。

10 どうして少子化が進行するのでしょうか。

受験番号